平成26年度　エコキャンパス・グリーンキャンパス推進　実施計画 （平成24～26年度）

＜首都大学東京 日野キャンパス＞

項目	計画期間における方向性 24～26年度	24年度	25年度	26年度	平成26年度実施項目
1　環境負荷軽減					
(1)省資源・省ｴﾈﾙｷﾞｰ対策					
①削減数値目標達成状況					
【条例】 温室効果ｶﾞｽ (南大沢ｷｬﾝﾊﾟｽのみ)					
【省エネ法】 原油換算使用量 （日野キャンパス）	24年度　削減目標▲1%（前年度比） 25年度　削減目標▲1%（前年度比） 26年度　削減目標▲1%（前年度比）	削減目標▲1%（前年度比）の達成	→	→	・省エネ法に基づく前年度比１％削減を目標とする。
②ソフト対策	・ﾋﾟｰｸｶｯﾄ対策の検証	ﾋﾟｰｸｶｯﾄ対策の検証し、継続可能な取組を実施	→	→	・平成25年度に実施したピークカット対策を検証し、適正な照度を確保した照明の運用、適正な温度での空調運用を実施する。
	・照明の削減、中央空調の室温管理の徹底等	現在実施している照明、空調対策の検証	検証結果の実施	→	・平成25年度の照明及び空調の運用を検証し、適正な照度を確保した照明の削減方法、適正な温湿度を実現する中央空調の室温管理等について引続き実施し、運用を確立する。
	・設備の運用改善	空調設備の運用方法の検討	検討結果の実施	→	・平成24年度、25年度に更新した空調設備について適切な運用を確立する。
	・教職員、学生への啓発の強化	・ポスター等による節電等の啓発強化 ・HPにおける電力使用量の情報提供の継続	→	→	・教職員、学生に対する室温管理の適正化、無駄な電力を使用しない等の啓発活動の強化のため、ポスターを作成し掲示する。 ・システムデザイン学部、同研究科のウェブサイトにおいて電力使用量の情報提供を引続き行う。
③ハード対策	・今後の施設改修計画に係る検討、見直し	2号館空調機更新	14号館空調機更新	14号館照明設備更新	・14号館照明設備について、省エネ性の高い照明器具への更新工事を実施する。
	・エコキャンパスを先導する「実験棟群改築」の実施	仮設校舎解体準備	・仮設校舎解体撤去 ・新実験棟改築工事	→	・旧本棟地下に存在する電気設備等の盛替えを行い、旧本棟地下の解体撤去を実施する。 ・新実験棟の基礎工事、躯体工事、仕上げ工事を実施する。 ・既設実験棟群の解体・跡地整備の設計を実施する。
(2)廃棄物・汚染物質処理の適正化　.					
廃棄物・汚染物質処理	・廃棄物・汚染物質処理に関する法令遵守	廃棄物・汚染物質処理に関する法令の遵守	→	→	・マニフェストの確認等廃棄物・汚染物質処理に関する法令を遵守し、適正に処理する。
	・廃棄物・汚染物質の削減策の検討、立案、実施	会議のﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化検討	検討結果の反映	→	・会議のメール開催を拡大する。 ・裏紙利用を促進する。 ・ガイダンス及び学生生活ガイドにおいて、ゴミ分別の周知徹底を図る。

平成26年度　エコキャンパス･グリーンキャンパス推進　実施計画　（平成24～26年度）

＜ 首都大学東京 日野キャンパス ＞

項目	計画期間における方向性 24～26年度	24年度	25年度	26年度	平成26年度実施項目
2　環境教育					
(1)学生指導					
学生指導等	・取組みについてサイトでの公表	・学内掲示等による啓発や指導教員による指導 ・学生が参加できる仕組の検討	→ ・検討結果の反映	→ →	・照明・冷暖房管理について、学内掲示等による啓発や指導教員による指導を強化する。 ・ｴｺｷｬﾝﾊﾟｽ・ｸﾞﾘｰﾝｷｬﾝﾊﾟｽの取組に学生が参加できる取組みを実施する。
(2)ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ学部・研究科での教育					
講義・ゼミ等	・取組みについてサイトでの公表	環境教育の推進に寄与する教育の実施	→	→	・環境教育の推進に寄与する教育を引き続き実施し、内容をウェブサイトで公表する。
3　環境研究					
(1)ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ学部・研究科での研究					
環境研究	・環境問題に寄与する研究への取組み	環境問題の解決に寄与する研究の実施	→	→	・環境問題の解決に寄与する研究を引き続き実施する。
4　環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ					
(1)法令等の遵守					
省エネ法に基づくもの 環境確保条例に基づくもの	・省エネ法、環境確保条例等で定められている法令の遵守	報告書、計画書の適切な提出	→	→	・法令等で提出が義務付けられている報告書、計画書を適切に作成し提出する。
	・法令遵守の体制の構築、日々のﾁｪｯｸｼｽﾃﾑの検討・構築	環境関連法規管理台帳の作成	環境関連法規管理台帳の作成	環境関連法規管理台帳の内容の充実	・環境関連法規台帳の活用を図る。
(2)環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの構築					
学生や教職員等の協働による自律的・持続的な環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの構築・運用並びに成果の公開	・ｴｺｷｬﾝﾊﾟｽ・ｸﾞﾘｰﾝｷｬﾝﾊﾟｽ委員会部会の拡充、より幅広い省ｴﾈ体制の構築	委員会部会の拡充の検討	検討内容の反映	→	・ｴｺｷｬﾝﾊﾟｽ・ｸﾞﾘｰﾝｷｬﾝﾊﾟｽ推進委員会日野キャンパス部会の活動の活性化を図る。
	・日野ｷｬﾝﾊﾟｽ部会の下に幅広い教職員参加のWG等の設置、連携した取組みの実行	幅広く学生や教職員が参画できる仕組の検討	検討内容の反映	→	・幅広く学生や教職員が参画できる仕組を確立する。
	・成果についてのサイトでの公表	成果、取組状況等を引き続きウェブサイトで公表	→	→	・成果、取組状況等をシステムデザイン学部、同研究科ウェブサイトで公表し、情報を発信する。
(3)その他					
ⅰ)「見える化」の推進	・キャンパスの電気使用量や棟別使用状況の適宜情報提供	棟別使用電力量の把握について検討	棟別使用電力量の把握・情報提供	→	・棟別使用電力量のデータを活用し、省エネ対策を検討、実施する。
ⅱ)PDCAｻｲｸﾙの管理・運用	・ｴｺｷｬﾝﾊﾟｽ・ｸﾞﾘｰﾝｷｬﾝﾊﾟｽ推進委員会日野ｷｬﾝﾊﾟｽ部会の活動の活性化	委員会部会の活性化の検討	検討内容の反映	→	・ｴｺｷｬﾝﾊﾟｽ・ｸﾞﾘｰﾝｷｬﾝﾊﾟｽ推進委員会日野キャンパス部会の活性化について引き続き検討、検証する。
	・取組み方法の見直し、新しい取組みに反映するよう委員会・部会での検討	・ﾋﾟｰｸｶｯﾄ対策の検証	・検討内容の反映 ・実施計画に基づく取組の検証	→ →	・ｴｺｷｬﾝﾊﾟｽ・ｸﾞﾘｰﾝｷｬﾝﾊﾟｽ推進委員会日野キャンパス部会において、ピークカｯﾄ対策を検証するなど、取組みの改善を進める。

平成26年度 エコキャンパス･グリーンキャンパス推進 実施計画 （平成24～26年度）

＜首都大学東京 日野キャンパス＞

項目	計画期間における方向性 24～26年度	24年度	25年度	26年度	平成26年度実施項目
5 地域社会貢献					
都民･事業者･東京都･日野市との連携	･東京都及び日野市等の関係部署との協議体制の構築	東京都及び日野市等の関係部署とのネットワークづくり	→	→	･東京都や日野市の関連部署との協議体制の構築を進める等、円滑な連携を図る。
	･環境教育や環境研究の成果を地域社会へ還元	環境教育等の成果をサイトで公表	→	→	･環境教育や環境研究の成果をシステムデザイン学部、同研究科ウェブサイトで公表する。
備考					